

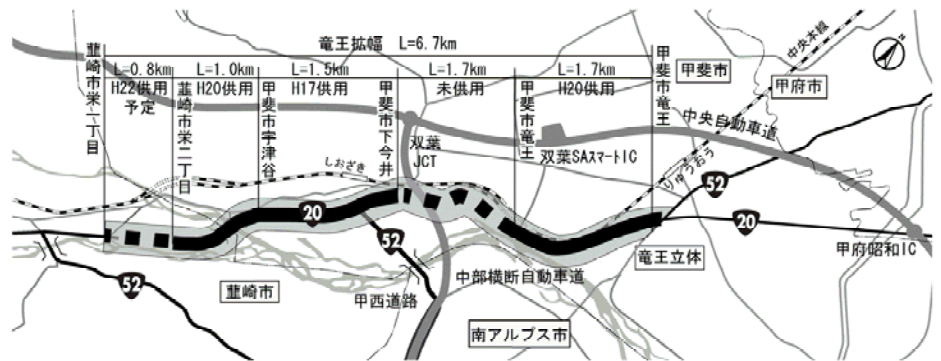
## 再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道20号竜王拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	白：山梨県甲斐市竜王 至：山梨県韮崎市栄一丁目	延長	6.7 km		
<b>事業概要</b> 国道20号は、東京都中央区から山梨県甲府市を経て長野県塩尻市に至る幹線道路である。竜王拡幅は、甲府市街地から甲斐市竜王・韮崎市間の交通混雑緩和、交通安全の確保などを目的とした、甲斐市竜王から韮崎市栄一丁目までの延長約6.7kmの拡幅事業である。					
H8年度事業化	H5年度都市計画決定	H11年度用地着手	H11年度工事着手		
全体事業費	約210億円	事業進捗率	94%	供用済延長	5.0 km
計画交通量	26,300～33,700台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 6.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 18/265億円 (事業費：11/238億円) (維持管理費：6.8/27億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 113/467億円 (走行時間短縮便益：97/430億円) (走行費用減少便益：5.2/24億円) (交通事故減少便益：10/14億円)	基準年 平成22年	
<b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施 交通量：B/C=5.6～6.8 (交通量±10%) 事業費：B/C=5.9～6.6 (事業費±10%) 事業期間：B/C=6.0～6.3 (事業期間±20%)					
<b>事業の効果等</b> (1) 交通混雑の緩和 ・ 竜王拡幅区間の損失時間は全国平均の約3.9倍 (竜王拡幅区間：78.9千人時間/年・km、全国平均20.3千人時間/年・km) ・ 拡幅により混雑が緩和し、全区間を通してスムーズな通行が実現可能 (2) 安全安心な通行の確保 ・ 全線未供用時の竜王拡幅区間の死傷事故率は、61.7件/億台・km ・ 事業区間の事故の内訳は、渋滞が一つの要因である追突事故が約7割を占める ・ 竜王拡幅の整備により渋滞が緩和し、事故の減少が見込まれる (3) 沿道人口の増加および商業施設の立地 ・ 竜王拡幅周辺地域では、甲斐市・韮崎市の都市化に伴い定住人口が増加 ・ H21年4月に大型商業施設であるラザウォーク甲斐双葉が竜王拡幅区間沿いに開業					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 山梨県知事の見解：一般国道20号は山梨県を東西に横断する重要な幹線道路であり、竜王拡幅は、甲斐市から韮崎市にかけての慢性的な交通渋滞の緩和や交通安全の確保が図られ、周辺地域とのネットワーク強化に寄与することから、早期完成をお願いします。					
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 事業の継続を承認する。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 竜王拡幅に接続する甲西道路(延長18.2km)が平成19年度に完了。また、平成21年度に沿道に大型商業施設が開業。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成22年度までに約5.0kmを完成4車線で供用。引き続き、残る1.7km区間の4車線化に向けて事業を進める。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 用地の取得は100%完了。引き続き、全線4車線完成に向けた事業促進を図る。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> なし					
対応方針	事業継続				
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。					

事業概要図

凡例	
	供用中
	事業中
	再評価箇所



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。